

2026（令和8）年9月9日

報道機関各位

（公財）アイヌ民族文化財団

監督 OKI によるドキュメンタリー作品 第2弾 「ポロトのビッグエカシ」

10月11日「アイヌアートショー2026」にて公開

公益財団法人アイヌ民族文化財団（札幌市中央区、常本照樹理事長）が運営するウポポイ（民族共生象徴空間、以下「ウポポイ」）では、2026年10月11日（日）・12日（月・祝）の2日間にわたり、「アイヌアートショー2026」を開催します。

本イベントの初日には、トンコリ奏者であり、映像監督としても活躍するアイヌアーティスト OKI 氏による最新ドキュメンタリー作品「ポロトのビッグエカシ」を公開します。かつてポロトコタンとして営まれてきた文化の継承の場が、ウポポイとして新たなかたちで再編され、未来へとつながる役割と、その意義を見つめ直す作品です。



〈profile〉

アイヌアーティスト、トンコリ奏者、映像監督。東京藝術大学で工芸を学び、ニューヨークで映像・特殊効果制作に従事した後、アイヌの伝統弦楽器トンコリと出会う。それ以降、アイヌ文化を現代へと更新し続けている。2025年には、国立アイヌ民族博物館のシアター作品『普段着のアイヌ』で監督を務め、撮影・編集・音楽を自ら手掛けた。

「Made in Ainu」を掲げ、音楽、映像、美術を横断しながら、新たなアイヌ表現を世界へ発信している。

OKI

▼概要

タイトル：「ポロトのビッグエカシ」

上映日：2026年10月11日（日）・12日（月・祝）

会場：多目的ホール

- ・30分の映像を両日4回上映（予定）
 - ・OKI氏による舞台挨拶を両日初回上映前に実施
 - ・OKI氏によるアート作品展示と両日14:30からトークショーを開催
- ※ 詳細は別添チラシおよび特設ウェブサイトをご参照ください。



～作品制作に込めた想い～OKI氏からのコメント

ウポポイがまだポロトコタンと呼ばれていたころ、コタンの入り口には高さ16mもある

アイヌの長老の像が建っていた。私はその合成樹脂製の黒くて無骨な像を

「ビッグエカシ-大きな長老」と勝手に呼んで慣れ親しんでいた。

ウポポイができると長い間、ポロトを見守っていたエカシは静かに消えていった。

本作品はエカシの生い立ちから最期まで、エカシの知られざる世界に迫るドキュメントである。



（特設ウェブサイト）

▼取材申込み

ウェブサイト「取材申込み」からお申し込みください。<https://ainu-upopoy.go.jp/inquiry/press/>

【ウポポイ】日本の貴重な文化でありながら存立の危機にあるアイヌ文化の復興と創造等の拠点として2020年北海道白老町にオープン。正式名称は民族共生象徴空間。愛称「ウポポイ」は「（おおぜいで）歌うこと」を意味する。公益財団法人アイヌ民族文化財団が運営。ウポポイ公式ウェブサイト：<https://ainu-upopoy.go.jp>

【お問合せ先】

（公財）アイヌ民族文化財団 民族共生象徴空間運営本部 誘客広報課 松橋

E-mail submit@ainu-upopoy.jp TEL 0144-84-7318 FAX 0144-82-3685